

6 整備の方向性



(2) ゾーニングと主な機能

「新たな創造が生まれるウォークアブルタウンのコア」の実現に向けて、南エリアの4つのゾーンで特性に応じた再整備を図ります。
あわせて、堀留水処理センター上部空間（久屋大通庭園フラリエ含む）や若宮大通公園の周辺一帯について、栄地区と大須地区をつなぐ連携エリアとして位置付けます。

【空間活用方針と主な機能のイメージ】

